

2006年有珠山集中観測（計画 060507 版）  
地震観測部門 - 『静穏期の地震活動をとらえる』

担当：青山

- 目的：
  1. 静穏期の有珠山における地震活動域の高精度な推定
  2. 山頂火口原内の微小地震活動の発震メカニズムの推定
  3. 1977年～1982年活動との比較検討
  
- 日程：

設置 2006年5月中旬～6月中旬（毎週木～土曜）  
撤収 2006年8月下旬～9月上旬
  
- 臨時観測点数：

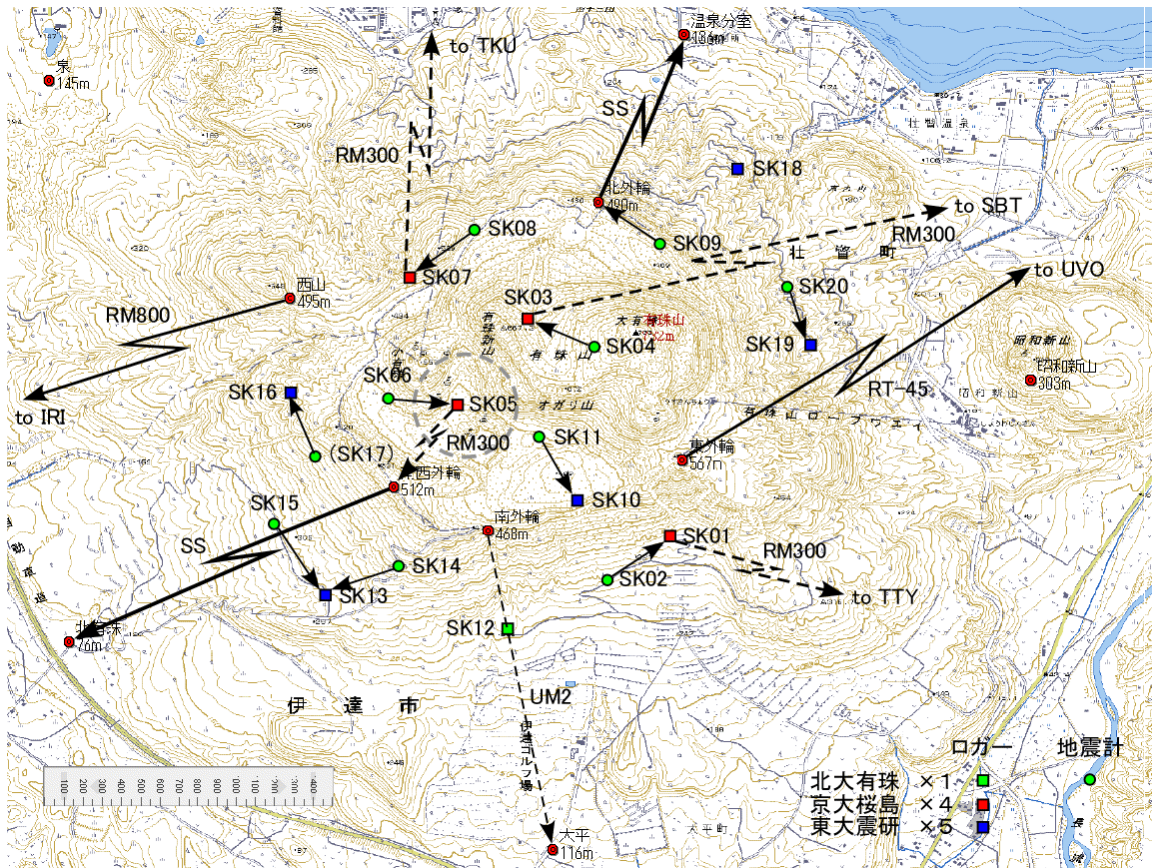
19（20）点：うち8点はテレメータ観測
  
- 機材：

ロガー  
LS7000XT（北大×1，東大震研×5，京大桜島×4）  
無線機&送信アンテナ  
RM300（京大桜島×4）+送信アンテナ（京大桜島×4）  
地震計  
L4C-3D（京大桜島×4）  
Lenartz（東大震研×5）  
CDJ-S2C（北大×1）or L4C-3D（北大×1）  
無線受信アンテナ  
400MHz用×4（RM300受信用）  
省電力PC（RM300受信用IP変換装置）  
Armadillo（Armadillo-9×5 or Armadillo-210×5）  
<問い合わせ先：アットマークテクノ（中央区北5条東2丁目AFビル5階：207-6550）>  
CFカード  
128MB×4（京大桜島ロガー用）  
1GB×12（北大，東大震研ロガー用）  
センサーケーブル  
平河ヒューテック HC-3B2（200m巻×20本+ ）  
バッテリー  
40Ah以上×12（京大桜島点用：3×4点）



● 観測点配置(計画):

予備計算の結果を受け、次のような配置を予定する。



基準点	付加点	収録方法	地震計	備考
SK01	SK02	TTYへRM300で無線伝送	L4C-3D	京大桜島機材
SK03	SK04	SBTへRM300で無線伝送	L4C-3D	京大桜島機材
SK05	SK06	SWRMへRM300で無線伝送	L4C-3D	京大桜島機材
SK07	SK08	TKUへRM300で無線伝送	L4C-3D	京大桜島機材
NRM	SK09	SSBへSS無線伝送		NRMは既設点
SK10	SK11	現地収録CF	Lenartz	東大震研機材
SK12		現地収録CF	CDJ-S2C	北大機材
SK13	SK14,SK15	現地収録CF	Lenartz	東大震研機材
SK16	(SK17)	現地収録CF	Lenartz	東大震研機材
SK18		現地収録CF	Lenartz	東大震研機材
SK19	SK20	現地収録CF	Lenartz	東大震研機材